

施工前リスク評価支援

SOLIZE
Uraka 建設クラウド新機能

SOLIZE Uraka Technology (東京都千代田区、堤寛朗社長) は、施工現場の安全管理・品質管理を支援するクラウドサービス「Specta KY Tool」に、施工前に管理者が行うリスクアセスメント業務を

支援する新機能を追加した。工事の種類や作業フローを基に、関連する過去の類似性の高い災害事例や対策などの情報を容易に抽出できるようになる。

同サービスは自然言語処理AI(人工知能)を用いて建設業などの施工現場の管理をサポートする。新機能によってデータはリスクアセスメントシートに反映でき、管理者権限を持つユーザー間でシートの共有も可能になる。管理者の経験に依存することなく網羅的かつ高精度なリスクアセスメントを実現するとともに、従来は現場レベルにとどまっていた防災実績や対策ノウハウの活用促進につなげる。